



えひめ



Contents

特集

四国を代表する物流拠点

～松山港外港地区多目的国際ターミナル整備事業～

●現場だより…～浚渫工事を知っておこう!!～





特集 四国を代表する物流拠点

～松山港外港地区多目的国際ターミナル整備事業～

松山港湾・空港整備事務所では、松山港における取扱貨物の増大や船舶の大型化に対応するため、多目的国際ターミナルの整備を進めており、岸壁（-13m）の早期供用を目指しています。岸壁（-13m）が完成すると、4万トン級の貨物船も着岸することができるようになり、松山港を利用した海上輸送効率は大幅に向上します。



▲平成21年度松山港外港地区の整備状況

★岸壁（-13m）

4万トン級の貨物船が着岸可能な岸壁（全長260m）を整備。これまでに約200m区間のケーソン据付が完了しており、21年度はケーソンの製作や据付を実施する。

★護岸（防波）

北西方向の強い波浪から陸地を守るための護岸（全長約220m）を整備。平成21年9月時点、ほぼ完成。

★泊地（-13m）

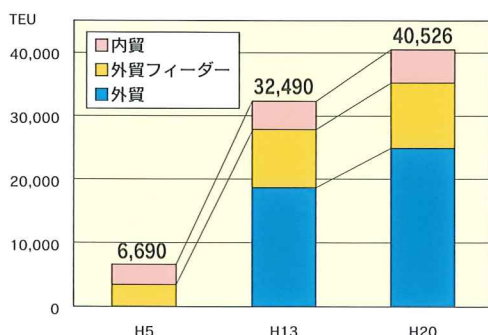
船舶が安全に停泊できる水深確保のため、計画面積191,000m²を整備。平成21年度は、20,000m²の浚渫（しゅんせつ）を実施する。

●四国を代表する物流拠点 ～松山港～

松山港の背後地域は、50万人以上の人口を抱える松山市をはじめ、四国一の人口集中地であることから、商業の発展に加えて、臨海部では化学、繊維、電器機器、農業機械等の幅広い産業が集積することで、地域経済を支えています。

これらの各産業からは、輸送効率の高い海上物流の構築に大きな期待が寄せられています。平成5年3月の輸入促進地域（FAZ）指定後、松山港コンテナターミナル、愛媛国際物流ターミナルの整備と着実に港湾物流施設の整備を進めたこともあり、外貿コンテナ貨物取扱量は約6倍に増加しています。

松山港コンテナ貨物取扱量



※平成5年3月 輸入促進地域指定・コンテナ貨物取扱い開始
※平成13年3月 松山港外港地区岸壁（-10m）供用開始

「浚渫（しゅんせつ）」って？

泊地や航路の水深を確保するために海底を掘り下げることです。



また、経済発展著しい東アジア地域との定期コンテナ航路を四国随一の週8便を有しており、四国の貿易拠点港となっています。

松山港の発展は、これらの地域の基幹産業を支えるとともに、四国を代表する物流拠点としての重要な役割を担っています。

四国の外貿定期コンテナ航路





現場だより

～しゅんせつ 浚渫工事を知っておこう!!～

平成21年8月から松山港外港地区において、4万トン級の貨物船に必要な水深を確保するために、浚渫工事を実施します。今回は浚渫工事の流れについて、ご紹介します。



浚渫は海底の土砂を掘り下げるために濁りが生じます。濁りが拡散しないためには、汚濁防止膜などで濁りの拡散を防止します。



旋回式クレーンにグラブバケットを装着したグラブ船が、海底の土砂を掴みとります。



掴んだ土砂は土運船と呼ばれる船に載せられます。



埋立地〔岸壁(-13m)の背後〕まで土砂を運搬します。



埋立地まで運ばれた土砂は重機などで埋立地に投入します。



埋め立て造成された土地は、荷役を行うための施設や工場等の敷地として、有効に利用されていきます。

● 学生現場見学会を開催 ●

6月16日(火)・30日(火)、将来の技術者の担い手となる愛媛大学工学部の1回生97名を対象として、松山港外港地区 護岸(防波)、アイロット(愛媛国際物流ターミナル)の見学会を開催しました。

ほとんどの学生が初めて工事現場にきた様子でしたが、現場の施工方法の質問などもあり、有意義な現場説明となりました。

また、アイロットの担当者から、隣接する松山港外港地区のコンテナターミナルとの深いつながりを説明していただきました。今回の見学会が今後の大学での勉学、港湾物流への理解に役だっただけであれば幸いです。

当所では、港湾の役割や必要性をご理解していただくために、出前講座をはじめ色々な現場見学会を行っています。



▲施工や港湾物流の説明を熱心に聴き入る学生



ちくそうくんの豆知識

松山港の浚渫に用いるグラブバケットは、1回で約8m³の土砂を掴み取ることができます。これは、10トンダンブカーの1.5台分の土砂に相当します。

グラブバケットの中には、約200m³の土砂(ダンブカー約40台分)の土砂を掴むことができる巨大なグラブバケットも存在します。





◎みなとの役割、わかったかな? ~現場見学会「松山港みなとウォッチング」を開催~

8月5日(水)、今夏で第19回目の恒例イベント「松山港みなとウォッチング」を111人の親子を迎えて、開催しました。

今回の「みなとウォッチング」では、普段はなかなか見学することができない、アイロット(愛媛国際物流ターミナル)のさまざまな施設や松山港コンテナターミナルを見学して、松山港の役割や港を利用した物流について、親子いっしょに学んでもらいました。また、松山港沖では、海面清掃中の「いしづち」を見学することができました。

「いしづち」のごみ回収の作業には、ちびっ子のみならず、お父さん、お母さんも大興奮!梅雨期に河川から流出したと思われる大量の浮遊ごみを、回収している様子は、好奇心をくすぐった様子でした。

今回の見学会は、親子で夏の楽しい思い出になったのではないのでしょうか。



▲「いしづち」の作業見学



◎みんなで守ろう、きれいな瀬戸内!! ~リフレッシュ瀬戸内を開催~

「リフレッシュ瀬戸内」が6月27日(土)、松山市中島の「あみあげビーチ」で開催されました。これは「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」(*)が行う活動の一つで、美しい瀬戸内の海を守っていくために、瀬戸内の各海岸において大掃除を行うものです。

当日は梅雨にもかかわらず、天候にも恵まれ、大浦地区老人クラブや中島小学校PTA東支部、中島小学校の児童、ボランティア約120名の参加によって、枯草や漂着ごみ、約300kgを回収しました。今回の清掃では中島の子供たちも多数参加しており、砂浜を走り回っての元気いっぱい清掃活動がとても印象的でした。

2時間足らずの清掃活動でしたが、こうした地道な活動のひとつひとつが、きれいで豊かな瀬戸内の海を守っています。海水浴や散歩など、海岸を利用する際は、瀬戸内を愛するみなさんの努力に感謝し、これからもこの美しい海岸を大切に受け継いでいくことに心がけたいものです。



▲中島小学校のちびっ子も大奮闘!!

※瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会

瀬戸内の各地域が一体となり、海を活かした地域づくりを考え実践することにより、瀬戸内海地域全体のさらなる振興と発展を図ることを目的として、平成3年5月に設立された。



◎ビーチでもっと楽しもう!! ~元オリンピック代表選手 徳野涼子さん 事務所を来訪~

6月2日(水)、アテネ五輪に出場された徳野涼子さん(*)が当所を訪問され、職員と海岸についての意見交換を行いました。

徳野さんからは、「ビーチは安全や占用の観点からさまざまな制約が加えられていることが多い。もう少し、自由な利用ができるようになれば、ビーチはもっと賑わうようになる。また、利用しやすいビーチになるためには、特にトイレやシャワーなどの水回り、ごみ箱、休憩のできるベンチ等の拡充も大切。」と、ビーチバレー選手としての体験されてきたことも織り交ぜながら、利用者の目線に立ったご意見をいただきました。



▲熱心に説明される徳野さん



▲徳野 涼子さん

※愛媛県松山市出身 アテネ五輪にビーチバレー選手として出場。現在、ビーチバレーにおける活動のほか、日本ビーチ文化振興協会に所属し、年間を通じてビーチが生活の一部になるような「ビーチライフ」を提案され、精力的に活動されている。



◎功績をたたえて

～「海の日」 海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰～

7月21日(火)、伊予市役所において、「新川なぎさ会（会長：乗松豊一さん）」が国土交通大臣から「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」を授与されました。「新川なぎさ会」は、伊予市新川周辺の海岸清掃を平成6年から現在にいたるまでの16年間にわたって継続されており、海の環境美化活動に尽力された功績が高く評価されました。

また、同日、八幡浜市役所において、八幡浜市諏訪崎周辺の海岸清掃や愛媛県絶滅危惧種に指定されている赤ガニ（アカテガニ・ベンケイガニ）の保護に取り組まれている「諏訪崎を愛する会（会長：松本利夫さん）」にこれまでの活動への敬意をこめて、感謝状を贈呈しました。



▲新川なぎさ会（所長からの代理授与）



▲諏訪崎を愛する会

～「国土交通day」 港湾関係建設功労者表彰～

7月27日(月)、当所では「国土交通day」にあたり、所長から港湾関係建設功労者を表彰しました。今回表彰されたのは、右記の皆様です。



▲受賞者の皆さん、おめでとうございます。

「国土交通day」って？

国土交通行政に関する意義・目的、重要性を広く国民に周知することを目的とした記念日で、毎年7月16日。これは、国土交通省設置法が交付された日（平成11年7月16日）を記念しています。



【優良工事表彰】

受賞者：株式会社小林組
受賞者：株式会社不動テトラ四国支店
受賞者：富士野建設株式会社
受賞者：泉建設株式会社

【優秀貢献工事表彰】

受賞者：五洋建設株式会社四国支店

【安全工事表彰】

受賞者：東洋建設株式会社四国支店

【優秀建設技術者表彰】

受賞者：楠橋 賢吾（株式会社小林組）
受賞者：塚本 敬一（株式会社不動テトラ）

【優良下請企業表彰】

受賞者：有限会社幸洋建設

【優良下請技術者表彰】

受賞者：石川 民和（有限会社幸洋建設）

（敬称略）

◎八幡浜で誕生、みなとのプロ!! ~「みなとまちづくりマイスター」に認定~

8月4日(火)、八幡浜市の谷本訓男たにもとの おさんが「みなとまちづくりマイスター」に認定され、国土交通省港湾局長から認定証を授与されました。

谷本さんは、「八幡浜港みなとまちづくり協議会」の会長として、「八幡浜港振興ビジョン」の実現に向けて、市民フォーラムの開催、みなとまちづくりプランの策定、みなとまちづくりコンペの実施など産・民・官・学の連携による八幡浜のみなとまちづくりの中心的な役割を果たされてきました。

今後、地元の八幡浜港の振興をはじめ、四国のみなとまちづくりについても、ご意見やご相談を仰ぎたいと思います。



▲谷本訓男さん



「みなとまちづくりマイスター」って?

みなとの賑わい創出や活性化など、「みなとまちづくり」の成功した事例の中で、中心的な役割を担った方を『みなとまちづくりマイスター』として、(社)ウオータフロンティア開発協会が認定しています。

今後の抱負

おかげ様で、八幡浜港振興ビジョンの整備も順調に進み、主な施設は平成24年度の完成予定となっています。

八幡浜港が、名実ともに四国の西の玄関口としての役割を果たすべく、港湾機能の充実とあわせてこの地域の中核的な交流拠点となるよう、一層住民参加によるみなとまちづくりに邁進してまいりたいと思っております。

◎松山空港「空の日」フェスタ開催!!

9月12日(土)、松山空港において、恒例の松山空港「空の日」フェスタが開催されます。

当日は、航空教室・記念撮影・航空会社バザー・バス見学ツアーをはじめ盛りだくさんのイベントがありますので、是非ご来場ください。

当所からも空港整備事業の展示ブースを開設します。

日 時：9月12日(土) 午前10時から午後4時まで

会場：第1会場 松山空港ターミナルビル

第2会場 愛媛航空格納庫周辺

お問い合わせ：松山空港「空の日」実行委員会 (松山空港事務所内)

TEL：(089) 972-0319



▲ヘリコプターの一般公開は大人気!!

— 事務所位置図 —



〒791-8058 松山市海岸通2426-1
TEL 089-951-0161(代表) FAX 089-946-8010



〒799-0402 四国中央市三島紙屋町6-45 四国中央市港湾庁舎
TEL 0896-24-1808(代表) FAX 0896-28-1036